

## 赤石岳・荒川三山 山行報告

1. 目的地 : 南アルプス 赤石岳(3120m) ~ 荒川三山 (前岳3068m 中岳3083m 東岳3141m) 縦走
2. 日程 : 平成20年7月26日(土) ~ 29日(火)
3. 天候 : 26日晴れ 27日晴れ後曇り 28日曇り後晴れ 29日晴れ
4. 参加者 : 参加者8名(男性4名・女性4名)
5. 参加費 : 33,100円(山小屋3泊(1泊2食8,000円)・高速料金・ガソリン代・運転手謝礼・事故保険金)
6. コースタイム :

榎島(さわらじま)	~	赤石小屋(泊)								
26日9:00		14:55								
赤石小屋	~	赤石岳	~	赤石・荒川分岐	~	荒川小屋(泊)				
27日5:30		9:20~9:50		10:10~11:00		昼食 13:00				
荒川小屋	~	中岳	~	中岳避難小屋	~	東岳(悪沢岳)	~	千枚岳	~	千枚小屋(泊)
28日5:50		7:50~8:50		10:05~11:00		13:00		13:35		
千枚小屋	~	榎島		10:30のバスに乗る予定だったが、満員で10:40発の臨時バスに乗る。						
29日5:30		10:20								

7. 標高差 : 26日:登り1417m 27日:登り580m下り510m 28日:登り630m下り630m 29日:下り1575m登り86m
8. 周辺情報 : 畑第一ダムの手前に大きい駐車場あり。トイレあり。駐車場入口が送迎バス乗り場。
9. 山行状況 :

1日目は榎島から赤石小屋まで約1400mの標高差をひたすら登るだけ。朝から快晴で暑さを警戒していたが、樹林帯の登りなので予想外に涼しかった。途中、オコジョの歓迎を受ける。全員よくがんばってほぼ予定どおり赤石小屋着。

2日目朝、赤石岳に笠雲がかかっている頂上が見えない。何とか晴れてほしいと思いながら出発。小屋を出て40分ほどで富士見平に着くと、雲表の彼方に富士山が顔を出してくれた。しかし赤石岳の頂上はまだ雲の中。富士見平からはこぶ尾根の巻き道に入るが、この辺から高山の花を見かける。巻き道を歩いていくうちに頂上付近のガスが消え、赤石岳が全容を現した。その大きさに感動。巻き道が終わると急な登りになるが、この登りはお花畑が次々に現れて楽しい。急登を何とか切り切り、稜線の分岐を左へ少し登ったところが赤石岳の頂上。ガスが消えたので展望が素晴らしい。荒川三山や聖岳も近くに見える。十分に展望を楽しんだ後、分岐に戻って昼食。その後、小赤石岳を越えて、広々とした大聖寺平に下る。途中で子連れのお花畑を見かける。雷鳥が現れると天気が悪くなるといわれているが、やはりそうらしい。ガスが湧いてきた。でも雨に降られることもなく荒川小屋に到着。

3日目はガスで何も見えない中、荒川小屋を出発。荒川岳への登りの斜面は広大なお花畑である。シナノキンバイやハクサンイチゲが主であるが、その中にクロユリ、イワカガミ、ヨツバシオガマ等もあり、種類も豊富だ。登山道はお花畑の大斜面をジグザグに登る。このお花畑の素晴らしさには全員大感激。切り切ると荒川三山の前岳と中岳の間の稜線に出るが、稜線上はものすごい強風。吹き飛ばされそうなので、前岳はバス、中岳を越えて、中岳避難小屋に避難。しばらく様子を見たが、風は治まりそうもない。やむなく東岳に向けて出発。東岳の頂上に立つと、ようやく風も弱まってきたので、ここで早めの昼食。何も見えないので下山にかかる。ところが10分くらい下ると、突然ガスが消えて、北は甲斐駒岳・仙丈岳から南は聖岳まで、南アルプスのほぼ全山を見渡せるようになった。こんなこともあるのだ、と全員びっくり、大喜び。どうやら前線が通過したらしい。再び東岳に登りなおして、展望を楽しんだ後、千枚岳を越えて、千枚小屋に到着。

4日目は樹林の中をひたすら下るだけ。今回は3泊したので、ゆっくりと山と花を楽しむことができた。山小屋は混んでいるとの情報が入っていたが、それほどでもなかった。

11. 写真 :

オコジヨの歓迎



赤石小屋前で赤石岳を眺めながら乾杯



赤石岳頂上



荒川岳登りのお花畑



東岳頂上を出発する時はこんな天気だったが、



少し下ると突然晴れて、塩見岳、仙丈岳、甲斐駒岳、間ノ岳、蝙蝠岳などを眺めることができた。

